

大野湊緑地公園 中期経営目標

(実施期間 平成27年度～平成29年度)

平成27年3月 策定

1 施設の設置目的

都市公園は、緑のオープンスペースによる都市環境の維持・向上を図るとともに、県民の利用に供することにより、公共の福祉の増進に寄与することを目的としています。

2 施設の果たすべき役割

大野湊緑地公園は、金沢市北西部の金石地区に位置する都市緑地であり、一帯は金沢市指定の天然記念物となっている大野湊神社の社叢林を中心に、古くから「寺中の森」と呼ばれています。この公園は、多くの人に親しまれてきた寺中の森の景観や自然を保全し、都市景観の向上を図るとともに、周辺に緑地を設け、地域住民の憩いの場として整備されています。

本公園は、散策・休息といった、県民の多様なレクリエーション需要に応えることを役割としています。

3 事業内容

(1)良好な景観や環境の保全・創出

園地や施設の整備と良好な管理により、金沢市天然記念物に指定されている社叢林と一帯となった自然景観を保全し、緑豊かな快い環境を創出します。

(2)野外におけるレクリエーション活動の場の提供

散策・休息といった憩いの場を提供します。

4 現状と課題

(1)管理運営体制について

・大野湊緑地公園では、施設を効率的・効果的に管理するため、指定管理者制度を平成18年度から導入しています。

・公園利用者に対する利便の提供、利用の促進、利用施設・設備、備品及び植栽等の維持管理及び修繕に関する業務などは指定管理者が行っており、当中期経営目標の実施期間である平成27年度から平成29年度までは、「公益財団法人 銭五頭彰会」を指定管理者として指定しています。

・県では、利用状況や利用者からのご意見、小修繕の実施状況などの管理状況について、指定管理者より定期的に報告を受け、運営指導や財政支援を行うなど、適正な管理・運営に努めています。

・県は、指定管理者と調整し、老朽化した施設の更新・修繕などを実施しており、今後とも取り組みを充実させる必要があります。

(2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

・都市公園の管理にあたっては、「安全・清潔で美しい空間づくり」を基本とし、芝生の刈り込み、樹木の剪定、害虫の防除などの維持管理作業を計画的かつ状況に応じて実施し、緑地環境の維持向上、来園者に気持ちよく利用していただける環境づくりに努めるとともに、利用者の増大や交流につながるイベントの開催などに努めています。今後も、これまでの実績を活かしつつ、さらに効率的、効果的な手法を研究し、取り組んでいく必要があります。

・大野湊緑地公園は、銭屋五兵衛記念館と連携をとり、指定管理者による花苗プレゼントなど様々な自主事業を行っています。

・今後も、本公園の最大の特徴である社叢林と一体となった緑地として、県民の多様なニーズへの対応やサービスの向上を図っていく必要があります。

・広報活動として、ホームページの開設や各種マスメディアを活用した情報発信を行っており、今後とも情報発信の充実に向けて努めていく必要があります。

(3) 施設運営の効率化について

・県と指定管理者間で連絡体制を確立し、常に情報を共有するなど、非常時にも即時対応できるよう連携を図り、迅速かつ効率的な施設運営を行っています。

・今後とも、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを公園利用者に提供するとともに、管理経費の削減に努める必要があります。

5 中期経営目標

(1) 中期経営目標（指定管理者が実現すべき目標）

- ①利用者数については、少なくとも現状の水準を下回らないよう更なる利用促進に努めます。
- ②利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

(2) 測定指標と目標値

測定指標		H25実績値	目標値(H29)
①利用者数		34,221人	35,000人
②利用者アンケートにおける満足度	利用者サービス	100%	95%以上
	施設の維持・管理	100%	95%以上

6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

①利用促進に向けた取り組み

- ・公園の利用者拡大には、園内の一角にある銭屋五兵衛記念館の事業との一体的な展開が必要であり、俳句大会、お茶会、北前船模型づくり教室や大野湊神社春季大祭に併せた花鉢プレゼントなど、季節ごとに様々な自主事業を実施し、利用促進を図ります。
- ・イベントの告知や四季折々の風景の掲載、ブログ形式によるリアルタイムな情報提供などによりホームページを充実させ、公園の魅力の発信を行います。
- ・引き続き、地域や関係機関、ボランティア等との連携を深め、さらに銭五協議会を活用し管理運営に取り組み進めます。

②利用者サービスの向上に向けた取り組み

- ・公園利用者に対し、笑顔での接客を徹底します。
- ・利用者の声を、利用者からの聞き取りやアンケート、インターネット等により幅広く収集し、改善の反映に努めます。

(2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・公園内にある「銭屋五兵衛記念館」と公園の相互利用を高め、効率的な管理運営に努めます。

参考資料(施設の利用状況など)

(1)利用者数

項目	H23	H24	H25
利用者数	33,014 人	35,043 人	34,221 人

(2)有料施設の利用状況と収入の実績

なし